

## 埼玉会館ファミリー・クラシック

## ～仲道郁代 ピアノものがたり～

## Ikuyo Nakamichi

日本を代表するピアニストのひとり、仲道郁代さんが、ピアノをめぐる思い出話を交えながら、ピアノの名曲の世界にご案内するコンサートが行われます。「小さな頃から素敵な音楽を聴いて欲しい」という願いをこめて、この演奏会は特別に3歳から入場できる特別な企画になっています。

仲道郁代さんは、彩の国さいたま芸術劇場での、4年全12回にわたるベートーヴェンのピアノ・ソナタ全32曲のレクチャー・コンサートでもお馴染みのピアニスト。彼女の活動は、演奏だけにとどまらず、執筆や演奏会の企画までと多彩ですが、なかでも「音楽の世界で心ゆくまで遊んでいただきたい」、という願いをこめた「仲道郁代の音楽学校」(2003年度からは「仲道郁代の『ゴメン! 遊ばせクラシック』」としてヴァージョン・アップ)や、自身の子育て経験のなかから「クラシック音楽と幸せな出会いをしてもらいたい」と始めた「星のどうぶつたち」、「光のこどもたち」は、全国各地で公演が行われ、たくさんの子供たちと音楽との出会いの場として幅広い支持を集めています。

そんな仲道さんが、この9月、埼玉会館でのファミリー・コンサートのためにオリジナルのプログラムで贈るのが、「仲道郁代 ピアノものがたり」。今やピアニストとして世界中で活躍している仲道さんですが、子供の頃は音楽とはどんなふうに関わっていたのでしょうか。「初めてピアノにふれた時の感動、毎晩聴いていたレコードの話、ピアノ漬けだった学生時代、感動したコンサート……。いつも一緒だった『ピアノ』との思い出があります。それらを通して、ピアノの魅力をお伝えし、曲の感じ方やとらえかたの手引きとなるようなコンサートにしたいと思っています」(仲道さん)

ピアノを習っていれば必ずといってよいほどに良く弾かれるあの曲この曲、ピアノは習ったことがなくてもどこかで耳にしたことのあるピアノの名曲を通し、彼女の視点からピアノや音楽の素晴らしさが伝わってきます。

「現在ピアノを習っていらっしゃるお子さんたちから、大人の方たちにも、ピアノの魅力を知っていただきたい。もちろん、音楽大好きな方々にも、新たな発見があるようなコンサートを考えています」(仲道さん)

家族や友人と一緒に、楽しいお話と素敵な音楽の時間を過ごしてみたいいかがですか。

## 仲道 郁代 (なかみち いくよ)

古典からロマン派までの幅広いレパートリーで、独奏者・オーケストラのソリストとして国内外で活躍。05年には、英国チャールズ皇太子夫妻ご臨席のもと、イギリス室内オーケストラ主催の「結婚祝祭コンサート」に出演し絶賛された。2003年からは、地域社会の活性化と音楽文化の発展を目指し、大阪音楽大学特任教授、財団法人地域創造理事としても活動中。デビュー20周年にあたる、2006/2007シーズンは、全国各地で記念リサイタルを予定。  
http://www.ikuyo-nakamichi.com



©谷手正彦



これまでも子供たちに音楽の楽しさを伝える数々のコンサートを行って来ている仲道さん。しらかわホール「クラシックはじめの歩」公演より。

## 埼玉会館ファミリー・クラシック

## ～仲道郁代 ピアノものがたり～

【日時】 9月18日(月・祝) 開演 14:00

【会場】 埼玉会館 大ホール

【曲目】 ドビュッシー:《ベルガマスク組曲》より <月の光>  
モーツァルト:ピアノ・ソナタ第11番 イ長調 「トルコ行進曲付」  
ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第14番 嬰ハ短調 「月光」  
ショパン:幻想即興曲 嬰ハ短調  
ショパン:夜想曲第20番 「レント・コン・グラシ・エスプレシオーネ」  
ショパン:ポロネーズ第6番 変イ長調 「英雄」  
シューマン(リスト編曲):《ミルテの花》より <献呈>変イ長調  
リスト:メフィスト・ワルツ第1番

【出演】 仲道郁代(ピアノ)

【チケット(税込)】一般 大人3,000円 こども(3歳以上高校生以下)2,000円  
★親子セット(大人1枚+こども1枚)4,500円  
メンバーズ 大人2,700円

幸田浩子 Hiroko Kouda  
ソプラノ・リサイタル

11月に彩の国さいたま芸術劇場で公演予定の幸田浩子さん。同劇場には初登場ですが、国内外で活躍される注目の若手実力派ソプラノ歌手です。リサイタルを4ヶ月後に控えた幸田さんに、一問一答でお話を伺ってみました。



——今回のプログラムの聴きどころをお話ください。

幸田:前半には、大好きで長年歌い込んできたヘンデルの名曲の数々を予定しています。

そして今回、ピアノを弾いてくださる野平一郎さんの素晴らしい音色を私も堪能したいと思ひまして、リストの作品を選びました。後半のジプシーソングの第4曲目《亡き母が教えたまいし歌》は、どなたもきっと一度は耳にされたことがあるはず。最後の《カリヨン》は、舞台や映画音楽も手掛けるイタリア人作曲家が、私のために書いてくださった曲で、その美しいメロディーと「世界は泳いでいくための大きな大洋で、大地は両手を広げて我々を待っていてくれる。さあ、私たちは再び始めよう!」という歌詞の世界に浸っていただければ、と思っております。

——幸田さんの健康法はありますか?

幸田:幸いなことにとても健康なので、特に気をつけていませんが、よく笑い、よく食べ、よく歌うことでしょうか。

——演奏前に特別に食べるものはありますか?

幸田:オペラ界には、「本番前日は牛肉(レア、赤み)」という定説があるのですが、最近、「いやいや、のどに直接効くのはカラーゲンだ!」という説を伺ひまして、さっそく、演奏会前日にフカヒレスープを飲んでみました。

——効果のほどは?

幸田:あの……おいしかったですけど……効き目はよくわかりません。(笑い)

——お客様にメッセージを。

幸田:歌を歌い始めて、いったい何年になるのでしょうか。日本はもちろん、ローマやウィーンのオペラ座、ドイツの劇場に大聖堂、イタリアの片田舎の教会や野外劇場などなど、本当にたくさんの土地で歌ってきましたが、どこの場所にも、人々の祈りと音楽があることを心から感じています。

お客様と一緒するこの場所が、「祈りの叶う場所」ではなくとも、「いつか祈りは叶うのではないか」と、信じられる空間であって欲しい……。そして、お客様と共鳴し、愛情を喚起する……そんな歌い手でありたいと願ひながら舞台上に立っています。

今回、彩の国さいたま芸術劇場で歌わせて頂くのは初めてです。どんな素敵な出会いと発見があるのか、この「一期一会」を心から楽しみにしています。

——今後益々のご活躍を期待しています。



## 幸田 浩子 (こうだひろこ) ソプラノ

東京芸術大学を首席卒業。同大学院、オペラ研修所修了後渡伊。数々の国際コンクールに入賞後、ヨーロッパの大歌劇場に次々とデビュー。シュトゥットガルト国立劇場、カターニア・ベッリーニ大劇場、ローマ歌劇場等で活躍。2000年にはウィーン・フォルクスオーパーと専属契約。日本では新国立劇場、二期会等で主役級を演じる他、宮本亜門演出ミュージカル《キャンディード》に出演するなど多彩な活動を展開。最近ではNHK「世界遺産～青きドナウの旅」やTBS「ブロードキャスター」出演も話題に。華と実力を兼ね備え、今最も注目を集めているソプラノ歌手である。現在ポロニヤ在住。二期会会員



## Nodaira Ichirou, Piano

## 野平一郎 (のだいらいしろう) ピアノ

東京芸術大学、同大学院修士課程を修了。1978年よりフランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に学ぶ。ピアニストとしては内外の主要オーケストラにソリストとして出演。名手と数多く共演し、室内楽奏者としても活躍。2005年8月、初めてのオペラ作品「マドルガーダ」がドイツのシュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭のオープニングで演奏、絶賛を博す。

## 幸田浩子ソプラノ・リサイタル

【日時】 11月3日(金・祝) 開演 16:00

【会場】 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

【曲目】 ヘンデル:《アン女王の誕生日の為のオード》より "永遠の源よ"  
ヘンデル:オラトリオ《サムソン》より "輝かしいセラフィム"  
ヘンデル:歌劇《セルセ》より "なつかしい木陰よ"  
ヘンデル:歌劇《リナルド》より "私を泣かせてください"  
リスト:ペトルカカの3つのソネット S270  
サン＝サーンス:アヴェ・マリア  
マスネ:アヴェ・マリア  
ドヴォルジャーク:ジプシーの歌 op.55  
ドンギア:新しい色の祝祭にて ~カリヨン~

【出演】 幸田浩子(ソプラノ) / 野平一郎(ピアノ)

【チケット(税込)】一般 3,000円 学生席 1,000円  
メンバーズ 2,700円

【発売日】メンバーズ 7月29日(土) 一般 8月5日(土)